

ひょうごオリジナルギクに新しい仲間が加わります

兵庫県では兵庫県花卉協会と共同でひょうごオリジナルギク（商品名「サンバママ」シリーズ）の品種開発を行ってきた。今回、「兵庫花12号」「兵庫花13号」が品種登録され、新たに「兵庫花14号」「兵庫花15号」「兵庫花16号」を品種登録出願した。

内 容

兵庫県では2006年から兵庫県花卉協会と共同で“これまでにないような新しい使い方のできるギク”を目標に育種を行い、ひょうごオリジナルギクとして2013年10月に「兵庫花10号」（商品名「ウェディング・サンバ」）と「兵庫花11号」（商品名「スカーレット・サンバ」）を品種登録し、「サンバママ」シリーズとして本格的な生産を開始した。

これに続き、2016年11月には「兵庫花12号」（商品名「ビーナス・スターサンバ」）と「兵庫花13号」（商品名「フェアリー・スターサンバ」）が品種登録された。また、2016年9月には「兵庫花14号」「兵庫花15号」「兵庫花16号」を品種登録出願し、商品名を付けて試験出荷を開始した。

「兵庫花14号」は商品名「ラブリーピンク・サンバ」で、自然開花期が10月初旬の品種である。花径が約13cmの半八重咲きで花に芯のある大輪で、

花色は明るいピンク白である（写真1）。

「兵庫花15号」は商品名「マダム・サンバ」で、自然開花期が10月中旬の品種である。花径が約13cmの半八重咲きで花に芯のある大輪で、花色は濃い紫ピンクである（写真2）。

「兵庫花16号」は商品名「ダッカ・サンバ」で、自然開花期が10月中旬の品種である。花径が約17cmの一重咲きで花に芯のある大輪で、花色は濃い赤橙である（写真3）。

今後の方針

「サンバママ」シリーズの生産はひょうごサンバママ生産協議会で行っており、上記3品種も既存の「サンバママ」シリーズとともに協議会を中心に生産を本格化していく。また、電照栽培による出荷時期の拡大や鉢花としての生産にも取り組んでおり、協議会と連携して生産拡大をすすめる。

玉木 克知（淡路 農業部、前農産園芸部）

（問い合わせ先 電話：0799-42-4880）



写真1「ラブリーピンク・サンバ」



写真2「マダム・サンバ」



写真3「ダッカ・サンバ」